

登録コード	E9002300	開講年度	2026		
授業科目	障害児病理学演習				担当教員 宮地 弘一郎
英文授業名	Advanced Seminar on Research in Special Needs Education				副担当
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限
講義室	教育E106	授業形態	演習	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当	備考	特別支援教育コース		
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ				
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				特別支援教育研究に関する先行研究や最新の動向を分析し、課題を整理することができる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				障害児心理学・生理学・病理学の研究法に関する知識・技能を備え、それらを応用できる。
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働、健康長寿				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	障害児の生理および病理に関する研究テーマを設定し、障害の機序とこれを踏まえた発達支援についてより深く理解するとともに、文献検索とレビューの方法、及びプレゼンテーションの基本的な技法の習得を図る。具体的には以下の通り。 1) 特別支援教育に活用可能なデータベースを用いた文献検索により情報収集を行いレビューする。 2) 生理的指標を用いた研究方法論の学習および測定・実験実習を行う。 3) 各学生が選択したテーマを基に実験・資料収集を行い、そのプレゼンテーションを行う。				
(5)授業計画	授業内容 1) 障害に関する研究論文の文献検索および文献レビューの方法 2) 生理的指標を用いた研究法 3) 文献レビューおよび研究課題の明確化 4) 研究の実施および成果発表 授業日程 第1回 ガイダンス 第2回 データベースを用いた文献検索の方法 第3回 生理的指標を用いた研究法 第4回 測定実習 (脳波) 第5回 測定実習 (自律神経系指標) 第6回 文献レビュー ...レビュー方法 第7回 文献レビュー ...データの読み方 第8回 文献レビュー ...批判的視点 第9回 研究課題の設定 第10回 実験・調査 (準備) 第11回 実験・調査 (実施) 第12回 実験・調査 (分析) 第13回 研究成果プレゼンテーションの方法...卒業論文発表における聴講から 第14回 研究展開の方法...卒業論文発表会における討論から 授業アンケート 教育実習による欠席については、各学生の欠席回の授業に相当する課題研究を提示する。				
(6)成績評価の方法	実習(30%)、レポート(30%)、発表および討論(40%)の成績を総合して評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。				
(7)成績評価の基準	障害児の生理および病理に関する研究手法の理解について、 秀(S) : 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優(A) : 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良(B) : 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可(C) : 授業の達成目標の水準にある 不可(D): 授業の達成目標の水準よりやや下にある				
(8)事前事後学習の内容	発表準備等の作業や実験実習等は授業時間外に自主的に行う場合がある。さらに授業で示された内容やキーワードについて図書館等を活用して調べ学習を行い、知識の習得と内容の理解を図ること。必要に応じて宮地ゼミ4年生の指導を仰ぎながら進めること。なお本科目は、授業と授業時間外での自学自習とを合わせて90時間程度の学習を原則とする。				
(9)履修上の注意	本科目を履修する学生は、原則として「障害児研究法実習」を履修し、実験実習を選択すること。受講希望者は必ず前期期間中に相談すること。なお本授業は原則として宮地ゼミ3年生の科目となる。必要に応じて宮地ゼミ4年生の指導を仰ぎながら進めること。				

(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問・相談等がある場合はメールで対応する（アドレスは時間割表に記載）。研究室訪問は常時受け付けるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。
【教科書】	特になし。必要に応じて授業中に資料を配布する。
【参考文献】	授業の中で適宜紹介する。